

# 在宅療養者の“その人らしさ”を支える訪問看護に関する研究

キーワード：その人らしさ、訪問看護

## 領域・氏名

看護（在宅看護学）助教 / 宮ゆうこ

## 概要

在宅療養では、療養者の生活や価値観を尊重しながら支援する看護が重要とされており、訪問看護師は生活支援と医療的判断を統合した看護実践を担っています。研究では、在宅療養において訪問看護師が経験する判断の迷いや葛藤に着目し、その特徴や背景を明らかにすることで、訪問看護実践の理解を深めることを目指します。

## 具体的な内容

在宅療養では、療養者の生活や価値観、家族の意向、医療的安全性などが複雑に関係するため、訪問看護師は多様な状況の中で判断を行っています。例えば、健康管理を優先するべきか生活の希望を尊重するべきかといった場面や、療養者や家族の意向と医療的判断との間で迷いや葛藤が生じる場面があります。

こうした在宅療養の場特有の判断場面に着目し、訪問看護師がどのような視点から状況を捉え、どのように判断を行っているのかについて整理したいと考えています。これにより、訪問看護師の判断の特徴や実践知を明らかにし、在宅療養者の生活を支える看護のあり方について検討していきたいと考えています。

## Information（情報）

在宅で療養されている方々が、住み慣れた地域でその人らしく生活できるような看護のあり方を大切にしています。